

かたらひ No.37

第37号 / 令和5年1月吉日発行
発行 / 社会福祉法人 七施会
京都市右京区太秦一ノ井町 39-8
TEL (075)881-6666
FAX (075)864-0081
HP <https://nanasekai.or.jp>

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

平素より当法人の運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、社会経済活動と感染対策の両立が実践され、コロナ禍での日常も「ウィズコロナ」で変化して参りました。

当法人におきましても、コロナ禍で二年間中止しておりました「七施会祭」を11月に開催することができました。例年より小規模ではありましたが、イベントや模擬店等を催し、ご利用者様・ご家族様をはじめ地域の方々にもお越しいただきました。和やかな雰囲気の中、皆様が笑顔で楽しんでおられる様子を見た時に「人と人とのつながり」の大切さを改めて実感いたしました。

さて、今年は「卯（うさぎ）」の年です。「卯」という字は左右に開かれた門の形から出来たと言われており、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるとされています。また、祭りごとの際に生贄として捧げる肉を2つに裂いた形から出来たとされ「分ける（区切る）」という意味を持つ説もあります。このように「とび出る」や「分ける」という意味から、卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われたりするそうです。

昨今、コロナ禍やウクライナ戦争の影響で不況が続き、先行きの見えない毎日が続いています。今年は今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が「向上」する年になってほしいと願うばかりです。

当法人としまでもさらに成長することで、皆様が安心して暮らしていただくことができますよう努めて参ります。皆様方の尚一層のご指導、ご支援、ご厚情を賜りますようお願いいたしますと共に、今年一年が、皆様にとって穏やかな良き年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和5年1月吉日

社会福祉法人七施会 理事長 河合鉄男

【七施会祭を開催しました】

11月20日、当日の天気は雨の予報でしたが、開始前に奇跡的に雨が上がり、多くの方に来場していただくことができました。

内容は・・・

イベント(太秦ひょっとこ踊り・マジックショー)・歩き方診断・模擬店・バザー
(ご利用者様には縁日風のゲーム大会も)

太秦・ひょっとこ踊りでは、動きの説明を受けながら、みんな一緒に手足を動かして会場が盛り上がりしました。

おでんや焼きそば、うどん、漬物、野菜等の販売、また、ゲームやバザー等も行い大盛況となりました。



特養のご入居者様・ショートステイご利用者様には・・・

縁日風のゲーム大会を開催！様々なゲームや千本引きでお菓子やブランケット等の景品を見事引き当てられ、大喜びされていました。

七施会祭を開催するにあたり多くの皆様にご寄付、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



特別養護老人ホーム 短期入所生活介護

アムールうずまさ



10月下旬に各フロアに分かれ大運動会を行いました。“日頃のストレス発散！”とばかりに皆さん思い切り体を動かし、力を合わせて頑張っておられました。職員も参加させていただき、大盛り上がり！参加した皆が楽しい時間を過ごすことができました。



11月下旬から12月上旬にかけて、清滝まで紅葉狩りへ行ってきました。少人数でのドライブで、多くの方に参加していただくことができました。出発前は「寒いなあ〜やめとかな〜」と言われていた方も道中景色を眺めていると「ここ知ってるで」と笑顔に。天候も良く空気も澄んでいたためきれいな紅葉を見ることができ、参加した方々は「気持ちがいい」「ええとこ連れてもらった、ありがとう」と喜んでおられました。

アムールうずまさ 通所介護事業所



4月



6月

写真撮影の間 マスクを外させていただきます。



7月

コロナ渦が続き外出機会も減り気持ちもふさがちでしたが昨年は、一歩外に出る機会を設けました。春は桜見物・梅雨の晴れ間に紫陽花鑑賞・夏に祇園ばやしを聞きに・秋には紅葉狩り・・・と、出かけることができました。皆様の笑顔が景色に負けないくらい素敵で、喜んでいただけてとても良かったです。今年もいろんな企画を立て、皆様と楽しいひと時を過ごしたいと思います。



11月

クッキングに挑戦しました。
楽しくおいしく頂きました。
今年もいろいろ作りましょうね。



地域密着型特別養護老人ホーム メルシーうずまさ

七施会祭では、マジックショーや縁日風ゲーム大会に参加していただきました。

マジックショーでは実際に目の前で見ることや参加していただくという事もあり、「なんでや〜??」と不思議そうに見ておられたり、「すごいな!」と笑顔で拍手されていました。

縁日風ゲーム大会では、パターゴルフや射的に参加していただき、皆様真剣に挑戦されていました。普段と違う様子で周りを見渡し、雰囲気も楽しんでおられました。



レクリエーションでの習字の様子をご紹介します。「先生が書いて」「上手に書けたわ」と笑顔で冗談を交えながら行いました。書いた習字は部屋に飾っておられ、それを見られるたびに「あれ私が書いたんやで」と指さして職員に話してくださり、喜んでおられました。

今年も感染対策を徹底しながらいろいろご入居者様に楽しんでいただけるようにしていきたいと思います。

メルシーうずまさ 短期入所生活介護事業所

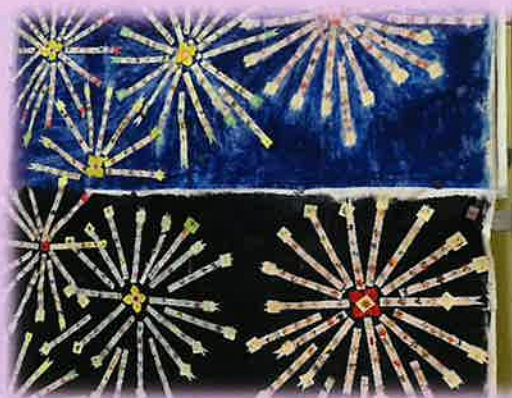


メルシーうずまさショートステイでは、季節に合わせた飾りをご利用者様と一緒に作成しました。

もみじの形に切ったスポンジで、紙にたくさん色のもみじを描き、ご利用者様それぞれ違った色で綺麗に作成されていました。真剣に取り組んでおられる様子や、隣同士で相談しながら和やかな様子で作業されていました。毎月、季節に合わせた飾りを壁に貼り季節を感じ取れるように工夫しております。ご自身で作成された折り紙などは家に持ち帰られ、ご家族に見せたりしておられます。

ご利用者様と一緒に季節に合わせた物を作成することや、レクリエーションを取り入れながら少しでも楽しんでいただけるように、リクエストをお聞きするなどして今年も工夫していきたいと思います。

メルシーうずまさ 通所介護事業所



通所介護事業所では、8月に花火大会と題して、花火の飾り制作を行いました。ご利用者様に細かくカットした広告を打ち上げ花火のように繋げて貼っていただき、黒く塗った大きな紙に貼りつけていただきました。広告を使用したことで、色鮮やかな花火が完成しました。

10月の変わり風呂はしょうが湯を実施しました。事前にしょうがをスライスして天日干ししました。しょうがの花も飾り、目でも楽しんでいただけるようにしました。しょうがには身体を温める成分があり、ご利用者様は「ほのかに香りもするし、よく温もるわ!」と喜ばれ、ゆっくり入浴されていました。今年も引き続き、レクリエーションや変わり風呂を実施していきたいと思います。今年もよろしくお願いします。

メルシーうずまさ 訪問介護事業所



秋の終わりに、ご利用者様のお宅を訪問すると、とても美味しそうな干し柿を作っておられました。日本の良き文化を感じますね。冬の訪れの足音が聞こえてくる季節には、ご利用者様のお宅に向かう道中では雪虫が飛び交い、季節の移り変わりを感じながら訪問しています。雪虫は実はアブラムシのうち、白腺物質を分泌する腺が存在するものの通称だそうで、寿命は1週間ほどだそうです。幻想的な容姿と違って、アブラムシとはちょっとびっくりです。

メルシーうずまさ 居宅介護支援事業所

～居宅サービスを上手く活用するために～
【介護保険以外の高齢者保健福祉サービス】



日常生活用具

- ・一人暮らしや高齢者だけの世帯で介護保険の要介護又は要支援と認定された方や認知症の高齢者等の生活の安全のために自動消火器、電磁調理器を給付するサービスです。概ね 65 歳以上で日常生活に支障のある独り暮らしの高齢者等で生活保護を受給されている方、又は市民税非課税に属している方が対象です。
- ・自動消火器：火災の際に機敏な行動をとることが困難な方が対象。
温度の上昇により消火液を噴き出します。
- ・電磁調理器：認知症等のため電磁調理器以外の調理器を利用した場合火災を発生させるおそれのある方が対象。
火を使わずに調理が出来ます。



詳しいことはケアマネジャーにご相談ください。



上杉 尚祺 様

昭和15年 祖母、両親とも教師の家庭で5人兄弟の長男として越後、柏崎にて生まれました。戦後だったこともあり娯楽はGHQの巡回映画で併映された時代劇映画「鞍馬天狗」「右門捕物帖」等でした。それで映画が好きになり自分でも作りたくなりました。大学進学は映画関係か電気関係か悩みましたが東京電機大学に入りました。在学中はジャズと映画鑑賞に明け暮れました。映画作りが諦められず、某放送局に就職が決まっていたが断り早稲田大学文学部に入り、本格的に映画の勉強をすることになりました。しかし時代の流れは急展開し、東京オリンピックの頃からテレビが家庭に普及し始め映画館に行かなくても楽しめるようになりテレビドラマへ移行していきました。卒業時あだけ盛んだった映画界は求人がなく1年間は家電製品の修理アルバイトをしました。そんな時、京都東映撮影所が助監督を募集していると聞き、すぐに京都に駆けつけ採用されて現在に至っています。当時の映画製作は年に数本しかなく代わりにテレビ映画制作が全盛期でした。月に12本くらい制作する忙しさ。その中でテレビ映画の助監督として「銭形平次」「新撰組始末記」「燃えよ剣」「遠山の金さん」等、気難しい監督の下で10年間頑張りました。そして里見浩太朗主演の「長七郎天下ご免」で監督デビューしました。その後の主な作品は「三匹が斬る」「暴れん坊将軍」「水戸黄門」早大時代同級生だった北大路欣也の「銭形平次」「逃亡者おりん」等。また、土曜ワイド山村美沙ミステリー「狩矢父娘シリーズ」全18話は代表作です。若い頃、影響を受けたジャズは喫茶店シーンのBGMとして流しました。19話、20話のクランクイン直前で脳梗塞発症し中断せざるを得ませんでした。今でも右手は不自由です。リハビリに努めていますが映画製作の夢は断ち難いです。自分の意見を取り入れた作品を作りたいと思い、少しずつ自主映画の制作を進めているところです。

☆プルミエールうずまさサービス付き高齢者向け住宅☆

プルミエールの皆様は 日々健康に美(ビ)にと、磨きをかけておられます。元気に過ごす為に体操教室に行かれたり、散歩を日課にされていたりと皆様活動的です。その中で、プルミエールでは座りながらできるヨガ教室を実施しています。ヨガと聞くと体全体を動かし寝転んだり立ってポーズをしたりを想像しますよね。プルミエールでは座りながらできるヨガなので無理な体勢をすることなく、普段伸びないところをきゅーっと伸ばしたりします。姿勢もよくなりそして体の中からポカポカとしてきます。ますます綺麗になられること間違いなしです!(^^)!



七施会祭では皆様の作品を展示させていただきました。どれも力作で、素敵な作品が出そろいました。

アムールうずまさ面会室ができました

コロナ感染予防のため、オンラインまたは玄関のガラス越しでの面会を行っていましたが、10月に面会室が完成しました。(補助金を活用させていただきました)

玄関を入ってすぐの所にありまして、すぐ横がデイサービスのスペースのため、定休日である日曜日以外は少々騒がしいですが、温かい室内でガラス越しでゆっくりお会いいただくことができるようになり、面会されるご家族様が増えています。

まだ以前のように仕切りなしに面会していただくことはできませんが、対応を工夫しながら少しずつできることを増やしていきたいと思っています。まだ面会にお越しになっていないご家族様、新しい面会室を一度体験してご感想をお聞かせください。

※ 事前の予約をお願いします。



社会福祉法人 七施会



【本体事業部】

〒616-8107 京都市右京区太秦一ノ井町 39-8

代表 TEL(075)881-6666

- ・特別養護老人ホーム アムールうずまさ
- ・アムールうずまさ 短期入所生活介護事業
- ・アムールうずまさ 通所介護事業所

【サテライト事業部】

〒616-8107 京都市右京区一ノ井町 41

代表 TEL(075)881-5557

- ・地域密着型特別養護老人ホーム メルシーうずまさ
- ・メルシーうずまさ 短期入所生活介護事業所
- ・メルシーうずまさ 通所介護事業所
- ・メルシーうずまさ 居宅介護支援事業所
- ・メルシーうずまさ 訪問介護事業所
- ・ブルミエールうずまさ サービス付き高齢者向け住宅
- ・おおきにうずまさ 地域交流センター

～編集後記～

一年って早いんですね。毎年同じことを言っていますが・・・コロナ禍では特に早く感じます。自分が年を取ったせいもあるのでしょうか。何もしないまま年だけ取ってしまいます。一年の目標を定め、実現できるようがんばりたいと思います。

令和5年こそはコロナが収束し、皆が普通の日常を取り戻し、穏やかに過ごせるようになることを願います。

せっかくなので。

七施会祭の様子、もう少し紹介させてください。

3年ぶりに開催した七施会祭。コロナ感染者数がどうなるのか？わからない状況で開催してよいものか・・・悩みましたが、感染対策をきっちりすればできるはず！と、やることに決めたのが夏頃。それからの準備期間が短く、本当に間に合うのか！？と不安もありましたが、“ご利用者様・ご家族様・地域の方たちに喜んでいただきたい”と、がんばって準備しました。結果的には大成功！やはりいつもと違うイベントがあるといいですね。皆さんの笑顔をたくさん見ることができ、職員も幸せな気持ちになりました。



歩き方診断コーナー



マジシャン「吉備八丸(きびやまる)」の正体は・・・デイサービスの職員。本格的なマジックを披露しました。



「太秦・ひょっとこ踊り」

太秦を拠点に活動されている「太秦・ひょっとこ踊りの会」様、七施会祭での披露は二回目です。イベント会場だけでなく、メルシーうずまさ特養・ショートステイの各ユニットも回っていただきました。